



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月2日

上場会社名 ナガイレーベン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7447 URL <https://www.nagailaben.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤登 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山村 浩之 TEL 03-5289-8200
 半期報告書提出予定日 2026年4月10日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有 証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	7,861	0.2	1,381	△7.9	1,475	△4.4	1,014	△4.5
2025年8月期中間期	7,843	6.1	1,499	△6.8	1,543	△5.9	1,062	△5.9

(注) 包括利益 2026年8月期中間期 1,066百万円 (△0.5%) 2025年8月期中間期 1,071百万円 (△7.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	33.53	—
2025年8月期中間期	34.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	41,467	38,369	92.5
2025年8月期	44,692	41,318	92.5

(参考) 自己資本 2026年8月期中間期 38,369百万円 2025年8月期 41,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2025年8月期期末配当の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 40円00銭

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	6.0	4,025	12.3	4,200	13.3	2,900	12.7	96.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期中間期	30,736,000株	2025年8月期	35,736,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期中間期	766,526株	2025年8月期	5,256,225株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年8月期中間期	30,249,292株	2025年8月期中間期	31,244,953株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年4月3日（金）にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。また、事前に録音した音声による説明内容を当日使用する決算説明資料とともに、決算説明会当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
販売の状況	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策により、景気は緩やかな回復基調がみられるものの、インフレや円安による消費者物価上昇の継続による影響は大きく、米国の通商政策の影響や中東情勢の動向による景気の下振れリスクなど、依然として先行きは不透明な状況にあります。

医療・介護を取り巻く環境は、継続する物価上昇により依然として厳しい状況が続きました。こうした環境下、政府は経営環境の改善を目的として、2025年度大型補正予算「医療・介護等支援パッケージ」を実施いたしました。また、診療報酬改定では本体3.09%、薬価を含む合計2.22%のプラス改定が決定され、本体が3%を超えるのは30年ぶり、合計でのプラスは12年ぶりとなりました。加えて、本来は改定年に当たらない介護報酬についても、従事者処遇改善や物価上昇対応を目的とした2.03%の臨時改定が実施されました。これらの施策が進展したことにより、市場には徐々に安心感が戻りつつあります。また、中東情勢の影響による事業環境の不確実性が高まるなか、医療現場においては、ディスプレイ商品からリユース商品への選好の機運が見られ始めています。

このような市場環境のもと、当中間連結会計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の売上高は、前年同期が6.1%増と好調であった反動もあり、前年同期比0.2%増の7,861百万円となりました。上期全体では前年並みの水準となりましたが、その内容としては、第1四半期に弱含んだ一方で、第2四半期に入って回復が鮮明となりました。なお、2月に実施した価格改定については、順調に浸透しております。

主力のコア市場は、第1四半期連結会計期間において前年同期比11.3%減と大幅な減収となったものの、当第2四半期連結会計期間においては更新案件の受注が予定どおり進捗したことに加え、前期からの繰越大型案件の更新が開始されたことなどにより、前年同期比10.0%増と回復しました。この結果、当中間連結会計期間では前年同期比1.4%増となり、前年に引き続き増収となりました。

周辺市場は、手術ウェアが前年同期比6.4%増と堅調に推移した一方、患者ウェアは新規案件の獲得が厳しく、前年同期比9.3%減となりました。この結果、周辺市場全体では前年同期比4.0%減の減収となりました。一方、海外市場では、台湾における前期からのずれ込み案件に加え、ソウル支店の開設効果もあり、前年同期比35.0%増と大幅な増収となりました。

今後につきましては、市場の経営環境改善を背景に、価格改定の効果が今後さらに本格化するとともに、更新案件の商談も順調に進んでおります。このため、通期では前年同期比6.0%増、売上高180億円の過去最高売上の達成を目指してまいります。

生産面におきましては、原材料価格の高騰や国内工場における加工賃の上昇影響が継続する一方、海外物流費の低減、海外生産比率の引き上げなどのコスト削減施策を着実に進めました。その結果、当中間連結会計期間における売上高総利益率は、概ね前年同期並の水準を維持しました。通期では、価格改定の浸透により40.3%を目指してまいります。

販売費及び一般管理費におきましては、賃金引き上げ等に伴う人件費の増加等により、前年同期比6.1%増となりました。

このような状況のもと、当中間連結会計期間の売上高につきましては、7,861百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は1,381百万円（同7.9%減）、経常利益は1,475百万円（同4.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,014百万円（同4.5%減）を計上いたしました。

通期の連結業績予想については、2025年10月1日に公表しました連結業績予想に変更なく、その達成に向けて目指してまいります。

	通期見通し	前年同期比
売上高	18,000 百万円	6.0%増
営業利益	4,025 百万円	12.3%増
経常利益	4,200 百万円	13.3%増
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,900 百万円	12.7%増

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産合計は41,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,224百万円減少いたしました。流動資産合計は32,860百万円となり3,339百万円減少し、主な要因は、現金及び預金の減少4,628百万円、電子記録債権の減少395百万円、受取手形及び売掛金の増加975百万円、棚卸資産の増加680百万円等であります。固定資産合計は8,607百万円となり、115百万円増加いたしました。その内訳として有形固定資産は7,250百万円となり5百万円減少、無形固定資産は189百万円となり22百万円増加、投資その他の資産は1,167百万円となり98百万円増加いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債合計は3,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ276百万円減少いたしました。流動負債合計は2,234百万円となり273百万円減少し、主な要因は、買掛金の増加165百万円、未払法人税等の減少123百万円等であります。固定負債合計は863百万円となり、2百万円減少いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は38,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,948百万円減少いたしました。主な要因は、配当の実施による3,047百万円の減少、親会社株主に帰属する中間純利益1,014百万円の計上による増加等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から変わらず92.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ728百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は425百万円（前年同期は231百万円）となりました。

主な要因は、税金等調整前中間純利益1,475百万円（同1,543百万円）、減価償却費142百万円（同134百万円）、仕入債務の増加額165百万円（前年同期は365百万円の減少）等による増加と、法人税等の支払額609百万円（同706百万円）、棚卸資産の増加額680百万円（同555百万円）、売上債権の増加額764百万円（同176百万円）等による減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は3,741百万円（同2,325百万円）となりました。

主な要因は、定期預金の預入に対する払戻の超過収入3,900百万円（同2,500百万円）等による増加、有形固定資産の取得による支出115百万円（同136百万円）等による減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は4,047百万円（同2,885百万円）となりました。

これは、配当金の支払額3,045百万円（同1,888百万円）、自己株式の取得による支出1,001百万円（同1,179百万円）等による減少であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2025年10月1日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,246,113	19,617,231
受取手形及び売掛金	2,278,147	3,253,670
電子記録債権	2,404,854	2,009,306
棚卸資産	7,050,930	7,730,992
その他	220,532	249,729
貸倒引当金	△469	△526
流動資産合計	36,200,109	32,860,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,403,218	2,325,381
機械装置及び運搬具(純額)	211,119	310,783
土地	4,440,815	4,440,815
建設仮勘定	61,664	—
その他(純額)	138,660	173,122
有形固定資産合計	7,255,478	7,250,103
無形固定資産	167,271	189,525
投資その他の資産		
投資有価証券	212,465	286,659
退職給付に係る資産	126,205	137,303
その他	732,451	745,429
貸倒引当金	△1,800	△1,800
投資その他の資産合計	1,069,322	1,167,593
固定資産合計	8,492,072	8,607,222
資産合計	44,692,182	41,467,627
負債の部		
流動負債		
買掛金	766,740	932,718
未払法人税等	638,762	515,211
賞与引当金	87,065	92,634
その他	1,014,534	693,456
流動負債合計	2,507,103	2,234,020
固定負債		
役員退職慰労引当金	45,800	47,800
退職給付に係る負債	444,922	445,742
その他	375,937	370,137
固定負債合計	866,659	863,680
負債合計	3,373,763	3,097,700

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925,273	1,925,273
資本剰余金	1,949,071	1,922,827
利益剰余金	45,403,317	35,642,292
自己株式	△8,108,329	△1,321,488
株主資本合計	41,169,333	38,168,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88,295	138,472
繰延ヘッジ損益	1,633	4,491
退職給付に係る調整累計額	59,157	58,056
その他の包括利益累計額合計	149,085	201,021
純資産合計	41,318,419	38,369,926
負債純資産合計	44,692,182	41,467,627

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	7,843,146	7,861,100
売上原価	4,725,311	4,762,689
売上総利益	3,117,835	3,098,411
販売費及び一般管理費	1,618,657	1,717,311
営業利益	1,499,177	1,381,099
営業外収益		
受取利息	12,774	58,862
受取配当金	2,976	3,204
受取賃貸料	43,991	44,041
為替差益	241	4,835
雑収入	11,707	10,379
営業外収益合計	71,693	121,323
営業外費用		
固定資産賃貸費用	25,159	24,988
雑損失	2,469	2,107
営業外費用合計	27,629	27,095
経常利益	1,543,241	1,475,327
特別利益		
投資有価証券売却益	—	672
特別利益合計	—	672
特別損失		
固定資産除売却損	30	96
特別損失合計	30	96
税金等調整前中間純利益	1,543,210	1,475,904
法人税、住民税及び事業税	518,573	492,213
法人税等調整額	△37,853	△30,700
法人税等合計	480,719	461,513
中間純利益	1,062,491	1,014,390
親会社株主に帰属する中間純利益	1,062,491	1,014,390

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純利益	1,062,491	1,014,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,148	50,177
繰延ヘッジ損益	17,684	2,858
退職給付に係る調整額	1,691	△1,101
その他の包括利益合計	9,226	51,935
中間包括利益	1,071,718	1,066,325
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,071,718	1,066,325

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,543,210	1,475,904
減価償却費	134,576	142,113
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	57
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△345	5,568
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,955	2,000
退職給付に係る資産・負債の増減額	△10,333	△11,967
受取利息及び受取配当金	△15,751	△62,067
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△672
為替差損益 (△は益)	510	△2,553
有形固定資産除却損	30	96
売上債権の増減額 (△は増加)	△176,636	△764,171
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△555,654	△680,062
仕入債務の増減額 (△は減少)	△365,859	165,977
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△34,217	△137,798
その他	△50,547	△19,117
小計	470,947	113,306
利息及び配当金の受取額	4,230	70,683
法人税等の支払額	△706,647	△609,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	△231,469	△425,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,100,000	△15,300,000
定期預金の払戻による収入	3,600,000	19,200,000
有形固定資産の取得による支出	△136,878	△115,146
無形固定資産の取得による支出	△35,596	△40,431
投資有価証券の取得による支出	△1,130	△1,304
投資有価証券の売却による収入	—	854
貸付けによる支出	△1,237	—
貸付金の回収による収入	540	—
その他	283	△2,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,325,980	3,741,366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,888,080	△3,045,704
自己株式の取得による支出	△1,179,595	△1,001,991
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	182,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,885,675	△4,047,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△594	2,553
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△791,758	△728,882
現金及び現金同等物の期首残高	5,349,457	4,746,113
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,557,699	4,017,231

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の消却等）

当社は、当中間連結会計期間において2025年11月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,000,000株の消却を実施しております。また、2025年12月12日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式17,699株の処分を行いました。この結果、資本剰余金が26,243千円、利益剰余金が7,727,438千円、自己株式が7,786,832千円それぞれ減少しております。

（自己株式の取得）

当社は、当中間連結会計期間において2025年11月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式528,000株を999,991千円で取得いたしました。この結果、当中間連結会計期間末において自己株式が1,321,488千円となっております。

（表示方法の変更）

（中間連結貸借対照表関係）

前連結会計年度において、「流動負債」に表示しておりました「支払手形及び買掛金」は、支払手形の残高がないため、当中間連結会計期間より「買掛金」として表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. その他

販売の状況

販売実績

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、市場別情報を記載しております。

市場別 (千円)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)	前年同期比 (%)
コア市場	5,607,952	101.4
(ヘルスケアウェア)	(4,336,759)	(101.7)
(ドクターウェア)	(1,087,180)	(100.8)
(ユーティリティウェア・他)	(184,012)	(97.8)
周辺市場	2,142,489	96.0
(患者ウェア)	(1,335,911)	(90.7)
(手術ウェア)	(806,577)	(106.4)
海外市場	110,659	135.0
合計 (千円)	7,861,100	100.2